



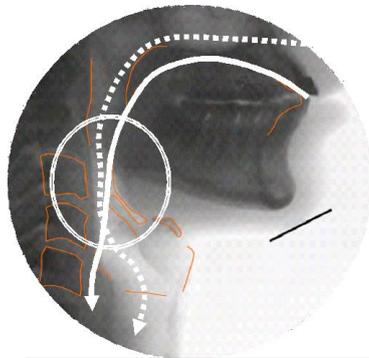
摂食・嚥下障害とは？

口で物を食べる行為は...

- ① 食べ物をどれ位、食べるか目で判断
- ② 口に入れてかみ砕き塊をつくる
- ③ 食道と気管の分かれ目に塊を送る
- ④ さらに食道に送り込む
- ⑤ 食塊が食道を通過して胃に入る

という5段階に大別されます。

「誤嚥」とは、食べ物の塊が気管に入り込むことを指します。肺炎や窒息など致命的な症状を引き起こす可能性もあります。



実線が食べ物の通路、点線が空気の通路を示す。それぞれの通路は咽頭内(二重線)で交差しており、食物輸送機構が破綻するといわゆる誤嚥に結びつく。

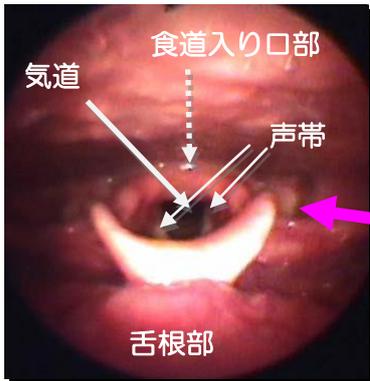
ビデオ内視鏡検査(VE)

鼻咽腔ファイ

バスコープを用いて嚥下諸器官、食塊の動態などを観察することが出来ます。

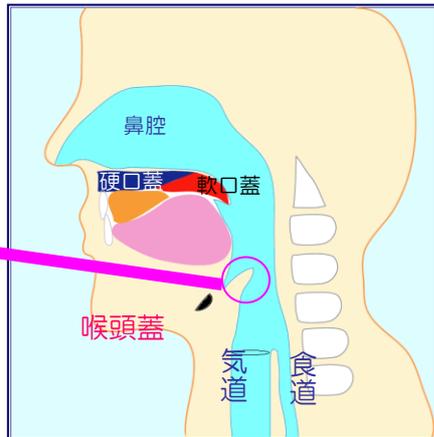


(背側)



(腹側)

咽頭の解剖



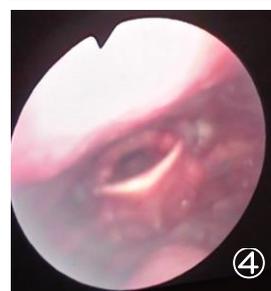
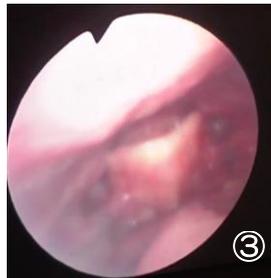
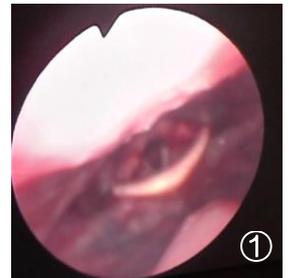
横から見るとお腹側に気道があり背中側に食道があります。



ビデオ内視鏡検査(VE)

Videoendoscopic Examination of Swallowing

正常な飲み込み



ゴクンと飲み込んだ瞬間の喉頭蓋の動きが右の写真です。飲み込む瞬間に気道を塞ぎ、食べ物を食道に送り込んでいるのを確認することができます。

問題のある方!



- ① は水に食紅で色を付け飲んでもらいましたが咽頭付近に残った状態です。
- ② は喉頭蓋が気道を塞ぐことができません。水分が入ってしまい、この後、誤嚥をしてしまいました。

一人一人にあった嚥下訓練・指導を行います!